

9月1日は「防災の日」

# 地域で高めよう！ 防災意識

大正12年9月1日に起きた関東大震災の教訓を生かし、災害に対する認識を深めようと毎年9月1日を「防災の日」、8月30日から9月5日までを「防災週間」としています。

平成23年の東日本大震災は、東北地方を中心に本市にも大きな爪痕を残しました。また全国各地で台風や集中豪雨などの自然災害が発生し、大きな被害をもたらしています。防災の日を機会に、災害についていま一度見つめ直しましょう。

## 防災意識を高める

東日本大震災を踏まえ、あらためて一人一人が災害について考え直し、防災意識を高めていく必要があります。

### 自らが……「自助」の意識

自らの生命は自らが守るといふ自助の意識が求められています。災害が発生したときに的確な行動が取れるよう、地域や職場などの防災訓練には積極的に参加し、自身の「防災行動力」を高めましょう。

### みんなで……「共助」の意識

自分たちのまちは自分たちで

守るといふ共助の意識を共有し、地域の人々が協力して助け合い、被害を最小限にとどめることも大切です。

また障害がある人、要介護などの認定を受けた人や高齢者など、災害が発生したときに配慮を要する人(要配慮者)を、地区や自治会、事業所などが協力して気遣うなどの取り組みも重要です。普段からコミュニケーションを図り、いざというときには、協力し合いながら支援しましょう。

## 自主防災組織の結成や活動に補助金を交付

市では、自主的な防災活動を行う組織などに補助金を交付し、自主防災組織の結成・活動を推進しています。

### 自主防災組織とは

地域住民の自衛意識と連帯感で結成された組織を、自主防災組織と呼んでいます。

大地震などが発生した場合、警察や消防などの活動は、著しく困難になることが予想されます。このような状況下では、住民自らが防災活動を行うことが期待されています。これは、被害を最小限に食い止めることにもつながります。

### 対象

区や自治会などの日常生活圏を単位とし、自主的な防災活動を行う組織

### 対象事業

「地域の自主的な防災訓練」  
補助額／事業に要した費用の3分の2に相当する額(千円未満切り捨て)とし、10万円を限度とする。

とする。

### 「防災用資機材などの購入」

補助額／●自主防災組織の設立時に購入する場合…費用の全額(千円未満切り捨て)とし、20万円を限度とする。●前記以外で購入する場合…費用の3分の2に相当する額(千円未満切り捨て)とし、10万円を限度とする。

### 申請方法

総務課にある申請書に、必要書類を添えて提出してください。

### 問い合わせ先

総務課地域安全班

☎ 62・5311

## いざというときに備え 総合防災訓練を実施します

日時／9月13日(日) 午前8時30分～

訓練場所／干潟中

対象地域／干潟地域

※なお当日は、海岸沿いの地区を対象とした津波避難訓練も実施します。

## いま一度確認を！ 避難情報

市では、災害時に「避難準備情報」「避難勧告」「避難指示」を発令する場合があります。これらの違いをあらかじめ理解しておくことが「自らの身を守る」ことにつながります。

種類	避難指示	避難勧告	避難準備情報
緊急度	高		



防災訓練でウオーターバッグの使い方を学ぶ